

小学校国語科における説明的な文章を正しく読み取る力の育成  
—「比べるアイテム」を活用した

表現の工夫の読み取りを通して—

研究構想図

長期研修員 園部 英子

# 説明的な文章を 正しく読み取ることができる児童

なぜこの表現を  
使ったのか考えると、  
筆者の言いたいことが  
よく分かるね！

筆者の  
意図

必要性を考えて  
筆者の意図を探る

手立て2 「表現の工夫」の必要性を考える

筆者の  
表現の工夫

アイテムを活用して  
表現の工夫に  
視点を当てる！

アイテムと  
本文を比べてみると、  
いろいろな表現の工夫が  
分かったよ！

比べる  
アイテム

手立て1 「表現の工夫」を捉える

- ①表現のよさが分からない。
- ②教材を通して筆者が伝えたいことが  
正しく捉えられない。

課題

説明的な文章の読み取り過程

「副教材」と本文を比べながら、説明書の構成や順序を表す言葉を捉える

尾括型の文章における「まとめの段落」と本文を比べながら、意味段落の役割を捉える

手立て1

「表現の工夫」を捉える

アイテムと教科書で順序を表す言葉を見付け、相違点を捉える



副教材

比べるアイテム

手立て2

「表現の工夫」の必要性を考える

有用性を考えることで筆者の意図を探る



「順序を表す言葉」を入れると、ほかの人にも作り方がよく分かるんだね。



必要性を考えることで筆者の意図を探る

「譲歩」の表現があると、反対意見の人にも聞き入れてもらえるし、自分の意見も強調できるんだね。

成果

○「比べるアイテム」を活用することで、視点を明確に持ち、表現の工夫を読み取ることができた。

課題

●内容や構成に合わせて「比べるアイテム」を選択する必要がある。

提言

○説明的な文章を正しく読むためには、「表現の工夫」を捉えたり、その必要性を考えたりする活動が効果的です。